

各 位

2003 年 6 月 20 日
日本特殊陶業株式会社
取締役社長 羽賀 征治

ゼロエミッション達成のお知らせ

～ 計画を前倒して、本年度中に国内全工場のゼロエミッションへ～

当社は 2003 年度、国内全工場が本年度中に「ゼロエミッションを達成」することを盛り込んだ環境計画を立てました。これは国内全工場の 4 拠点にて廃棄物のリユース、リサイクル化が順調に進んだため、昨年までの計画を一年前倒ししたものです。

取り組みを本格的に開始した 1999 年度は 340 t / 月を排出していた埋立て廃棄物は分別の徹底とリサイクル、リデュースの推進で、2002 年度末には僅か 13 t / 月までに削減できました。4 工場の内、既に昨年 9 月に鹿児島宮之城工場がゼロエミッションを達成(発表済)、本年 5 月には本社工場と主力の小牧工場で、当社のゼロエミッションの定義である「埋立て・焼却ごみの有効利用率を 98%以上」を 4 ヶ月連続でクリアしたことで、ゼロエミッション宣言を致しました。残りの有効利用が出来ないもの(1~2%)は、主にたばこの吸殻やトイレ関係の生活系雑ごみで、これをリサイクルするためには過剰なエネルギーの消費を伴うため、これは焼却ごみとして処理をしています。残る国内の一工場(伊勢)は本年度中の達成を目指します。

当社の環境保全システムは、国内 4 工場において 2000 年 12 月に統合認証を完了し、本年中には連結対象の関係会社 12 社全ての認証を完了して、グループ全社が共通の環境保全システムを運用し、環境情報のネットワーク化を目指します。ゼロエミッション活動も今後グループ全社に展開し、グループ全社では 2006 年度の達成を目指します。

< 補足 : 「ゼロエミッション」の定義 >

当社におけるゼロエミッションは産業廃棄物および事業系一般廃棄物を合わせた埋立て・焼却ごみ全体を削減し、有効利用率を 98%以上にすることをいいます。

以上

[お問い合わせ先] 総務部広報課

TEL : 052-872-5896

環境安全部

TEL : 052-872-5980